キャラクター名
赤月 かれは

プレイヤー名

シンドローム	オルクス オルクス	ワークス	その他A	カヴァー	
オプショナル		年齢	享年１１歳	性別	女性
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	36 %
出自	結社の一員	経験	死と再生	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	4	0	0			4

HP	24
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：動物	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
古代種	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ルーラー	5	6	セットアップ	視界	シーン（選択）			
効果： そのラウンドの間、対象が行うあらゆる判定のダイスを-Lv個する。このエフェクトは1シナリオに3回まで使用できる。								
絶望の領域	5	4	セットアップ	視界	シーン（選択）			
効果： そのラウンドの間、対象が行うあらゆる判定のダイスに-[Lv*2]個する。このエフェクトは1シナリオに1回まで使用できる。								
支配の領域	5	6	オート	視界	単体	自動		
効果 :象が判定のダイスを振った直後に使用する。対象の判定のダイス目のひとつを1に変更する。このエフェクトは対象が判定を行っている最中にも使用できる。このエフェクトは1回の使用につき1回まで使用でき、1シナリオにLv回まで使用できる。								
絶対支配	3	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果 :前提条件：《支配の領域》。《支配の領域》と同時に使用する。同時に使用した《支配の領域》は対象の判定のダイス目の[Lv+1]個を選んで1にする。								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

一年前に死亡した、ＵＧＮエージェントの一人娘。肉体を失い、魂だけが残留思念としてこの世に留まっている。
もともとはオーヴァードでは無い普通の少女で、両親がＵＧＮのエージェントである事など全く知らずに育ってきた。
一年前、ＦＨのセルが両親の命を狙って彼女の家を襲撃し、巻き込まれる形で死亡。娘を庇った二親と共に肉体は消滅し、目的を遂げたＦＨエージェントは去って行ったが、その直後に彼女はオーヴァードに覚醒。彼女の思念はこの世に蘇り、肉体を失った魂として現世に残った。
通常オーヴァードは肉体を粉々にされても再生するものだが、彼女に限っては肉体は蘇生されなかった。その理由は定かでないが、推測としては彼女の覚醒が中途半端な形であった事が原因と考えられる。
彼女の父親は死者を蘇らせる力を持っており、その力を娘に対して使ったと考えられる。その力が彼女をオーヴァードに覚醒させ思念を現世に留める事に成功したが、肉体を再生するまでには至らなかったという説だ。
真実は確かめ様が無いが、彼女は幽霊として再びこの世に生を受けた。その生が一時的なものなのか、それとも永遠に続くものなのかはわからないが、霊体となった彼女は老いる事も無く、食事も必要なくなった。

両親と自分の死を経験した事で影を落としてはいるが、性格は温厚でおっとりしている。自分が幽霊となった事も受け入れており、その事を自虐したジョークを口にできる程度には精神は安定した。
死後にＵＧＮによって発見、保護され、今はＵＧＮのイリーガルとして活動している。その目的は「両親の本当の仕事を体験してみたい」という純粋な思いから出ており、両親の仇を討ちたいと言う思いは薄いとされる。恨みが無い訳では無いだろうが、好戦的な性格ではないので復讐したいという思いはピンと来ないのだろう。
幽霊だからか様々な縛りやわだかまりに左右されず、基本的に自由奔放。悪戯好きな面もあるが、これは構って欲しいが故の裏返しである。
戦闘においては相手に触れる事が出来ない為、攻撃面や防御面では役に立てない。一方で心霊現象で敵を妨害する事が出来る為、それを駆使して味方をサポートするのが主な役割である。

彼女は幽霊であるが、厳密には因子の集合体である事がわかっており、そのため他者のレネゲイドの干渉を受ける。
悪意ある攻撃に触れると因子が掃滅してしまい、物理的では無いもののダメージを受ける。逆に因子を散らして姿を消したり、別の場所に再集結して移動する事